



# CLOSEUPいい病院

最新医療の現場から

医療法人 錦秀会

## 阪和住吉総合病院

### 内科と外科が真摯な医療態度で科学的根拠に基づいて行う迅速で的確な消化器疾患治療

大阪市住吉区の地域医療に貢献してきた阪和住吉総合病院は、高度な消化器医療の提供を目指し、消化器センターを設立した。内科と外科が協力し、迅速な診断や低侵襲な治療を実践し続けている。



消化器病センター長 金井 陸行

かないみちゆき ●医学博士。社会保険小倉記念病院外科医長、ハーバード医科大学マサチューセッツ総合病院消化器科研究員、武田病院外科医長、北野病院消化器センター外科部長などを経て、2008年に阪和住吉総合病院消化器センター長就任、日本外科学会認定外科専門医、日本消化器外科学会認定消化器外科専門医、京都大学医学部外科臨床教授など

内科・外科が協力して負担の少ない医療を追求  
人口15万人超と大阪市の中でも人口が多く、充実した医療の提供が求められて

いる住吉区。同区で急性期医療を実践している阪和住吉総合病院は、胃がん・大腸がんなどの消化器疾患に対する高度な医療の提供を目指し、2009年11月に消化器センターを立ち上げた。「内科・外科などの診療科の垣根をなくし、最良の医療を迅速に提供することが設立の狙いでした」と語るのは同センター長の金井陸行医師。同センタ

は6人の外科医師、5人の内科医師により、内科的治療・外科的治療の双方から科学的根拠に基づく適切な医療を追求している。同センターでは、患者の肉体的・精神的・経済的負担を最小限にすることを第一としている。それが端的に現れているのが、迅速な検査体制だろう。同センターで行う検査は、胃、大腸、小腸などへの一般的な内視鏡から、最新のカプセル内視鏡、高い技術を要する内視鏡的逆行性胆管造影検査まで幅広いが、そうした検査を含めた診断を、原則として来院当日に終えている。「患者さんの不安を早期に解決することが大切です。医師、看護師、検査技師の全員が真摯な医療態度で迅速な医療を心がけています」と強調する金井医師。

もちろん、検査で発見されたがんに対しても、低侵襲な治療を追求し、胃がん・

大腸がんに対する内視鏡下手術や腹腔鏡下手術、肝がんに行うラジオ波焼灼術など、開腹を要さない手術を重視して、11年4月～12年3月の平均在院日数11日と、早期回復・退院を実現した。それとあわせて抗がん剤治療も基本的に外来で行い、患者の生活の質を低下させないよう、最大限配慮しているという。



1987年に地域住民の健康を守る医療機関として設立された阪和住吉総合病院



低侵襲な内視鏡下手術から開腹手術まで、症状に応じた手術を行う



状況に応じて軽い麻酔を用いるなど、検査の苦痛が少なくなるよう配慮

### 地域との連携を進め多くの患者を救う

同センターは、こうした患者本位の医療を軸に近隣の開業医と役割を分担することで、手厚い地域医療を目指してきた。勉強会や地域医療連携室で開業医とも積極的に連絡を取り合い、現在では患者の7割が開業医からの紹介になっているという。11年1～12月で内視鏡検査数3358件、手術数492件と、小規模の病院であ

りながら、大病院と同等の検査・手術を実施する同センター。今後も、全体で5000床を有する錦秀会グループの急性期医療を担い、さらに多くの患者を救うことを目指していくという。「胃がんの手術数が人口の割に少なく、早期発見がなされていないなどと、まだまだ課題はあります。診療部門の拡充など、診療体制をより充実させていきたいと考えています」と、金井医師は今後の見通しを語る。

取材／鈴木健太

診療科目：消化器外科、消化器内科など

受付時間：月～土 8:30～11:30 / 12:30～16:00

病床数：119床

休診日：日・祝

〒558-0041

大阪府大阪市住吉区南住吉3-2-9

TEL.06.6692-1001 FAX.06-6606-6313

http://www.kinshukai.or.jp/

kinshukai/sumiyoshi/